

女性の視点から避難所を考える

(地域の生活者の多様なニーズに配慮した避難所運営に向けて)



阪神・淡路大震災以降、震災時の避難所運営における女性や子ども、高齢者などの配慮が必要な方々への対応が大きな課題となっています。避難所生活が長期化した東日本大震災でも、やはりこの問題はクローズアップされました。

新宿区では、四谷第六小学校と鶴巻小学校の2つの避難所をモデルとして、女性の視点を取り入れた避難所運営について検討してきました（平成24～26年度）。本リーフレットは、過去の震災経験等を参考に、両避難所運営管理協議会での取り組みをとりまとめたものです。

あなたのまちの避難所運営管理協議会でも、
できることから、取り組んでみませんか。

新 宿 区

過去の震災において女性は避難所でこのような問題に直面しました

○プライバシーの欠如

男性の目が気になり、下着を干すことができなくて困った。
着替える場所がなく、布団の中で着替えた。

○プライベートスペースの不足

授乳スペースがなく周囲に気を使うなど、乳幼児のいる世帯は生活しづらかった。
避難所内の居住スペースは、仕切りのない雑魚寝状態で、男性からの嫌がらせに困った。

○女性への性被害

レイプや児童虐待などの事件が発生していたので、怖くて夜はトイレに行けなかった。

○女性の避難所運営責任者の不在

食事の不安や相談できる相手がいないなど、妊婦の方が大きな不安を感じた。
避難所運営会議の役員に女性がいなかったため、女性特有の問題について相談しにくかった。

女性の視点から避難所運営について考えました

新宿区では、平成 24 年度より四谷第六小学校避難所運営管理協議会や鶴巻小学校避難所運営管理協議会で、女性の視点から避難所運営を考える取り組みを進めてきました。

これらの協議会では、まず女性の本音の意見や考えが出やすい環境をつくるために、町会・民生委員・PTA・行政職員等の女性で構成する「女子会」*を立ち上げました。女子会では、ワークショップ形式で女性の視点から女性のプライバシーや女性の安全・安心を守るための工夫について話し合いました。そのアイデアや意見は避難所防災訓練において実践し、効果と課題を継続して検証してきました。

この女子会は、四谷第六小学校避難所運営管理協議会では「女性支援部」、鶴巻小学校避難所運営管理協議会では「女性・子ども部」の新設につながるるとともに、今後、避難所運営マニュアルの見直しにも取り組んでいきます。

女子会での意見の例

- ▶ 避難所において女性が着替えや授乳を安心して行えるように、体育館のステージや教室の一部を乳幼児連れ世帯・単身女性・女性のみ世帯などが優先的に入れるスペースとして確保する
- ▶ 防犯や安全面からは目の行き届く場所へトイレを設置する
- ▶ 子どもが気兼ねなく遊べる空間を確保する
- ▶ 校舎屋上を洗濯物物干しスペースとして確保し、男性の目が届かないよう工夫する



*女性が気軽に楽しく防災について話し合うということで「女子会」という名称にしました。四谷第六小学校避難所運営管理協議会には「よつろく女子会」、鶴巻小学校避難所運営管理協議会には「つるまき女子会」を立ち上げました。

女性や子育て家庭等に配慮した避難所環境をつくりましょう

避難所では、たくさんの人が狭い空間で共同生活を行うこととなります。困難の感じ方や必要な支援に違いがあるということを前提に、避難者のプライバシー、女性や子育て家庭の安全・安心を守るための工夫を行うことは、誰にとっても安全で安心できる避難所環境をつくることにもつながります。

女性の視点に配慮した避難所環境をつくるために

- 避難所となる学校内の使えるスペースや広さを把握しましょう。そのうえで、避難生活に必要なスペース、運営に必要なスペース、プライバシーを確保するために必要なスペースなどを考え、事前に利用計画を作成しておきましょう。
- 女性が安心して着替えや授乳を行えるように、乳幼児連れ世帯・単身女性・女性のみ世帯などが優先的に使用できるスペースを作りましょう。プライベート空間をつくるには間仕切り用パーティションの活用も有効です。
- 異性の目線を気にせず、下着などを安心して干せる場所を作りましょう。
- 子育て家庭にも配慮し、子どもが気兼ねなく遊べるスペースを作りましょう。
- トイレを安全に利用できるよう配慮しましょう。夜間に屋外の仮設トイレを使用しなければならない状況となった場合には、照明器具をもって複数名で行くなど、トイレの使用ルールや配慮事項を書いた張り紙をするなど工夫しておくといでしょう。

多様なニーズに配慮した避難所運営に向けて

1 運営体制



協議会の役員に女性や若い世代が参画し、女性や子育て家庭の意見を反映しやすい環境をつくりましょう。モデルとした協議会のように、女性支援部や女性・子ども部といった役割をつくるのもよいでしょう。避難所運営のリーダーには男女両方をバランスよく配置しましょう。

2 女性用品



女性用品については女性の担当者から配布したり、袋に一人分ずつまとめて配布したり、女性専用スペースや女性トイレに常備したりしておくなど、配布方法を工夫しましょう。

3 役割分担

炊事や片付け、清掃等は、男女を問わずできる人が分担し、性別や年齢によって役割を固定化しないようにしましょう。



4 相談窓口

不安や悩み、女性に対する暴力等に対する相談窓口を設置し、ポスターや掲示板などで広く周知しましょう。



5 巡回警備

就寝場所や女性専用スペース等の巡回警備、暴力を許さない環境づくりにも取り組みましょう。



備蓄の品目や数量について、男女のニーズの違いや子育て家庭等のニーズに配慮することが必要です。

品目や数量について、女性の視点から、話しあってみましょう。

備蓄品目の例を以下に示しますが、食料や生活必需品等については、個々人によってニーズも異なりますので、避難所に備蓄している品目や数量、備蓄場所をみてもらい、個人の備えを促すとよいでしょう。

生理用品

- 生理用ナプキン（長時間用もあるとよい）とサニタリーショーツ
- 清浄綿
- おりものシート（下着代わりに交換して使用）
- 中身の見えないごみ袋

授乳用品

- 粉ミルク（調整粉乳）：哺乳瓶の衛生が確保される前提での提供、アレルギー用ミルク
- 乳幼児用飲料水（軟水）
- 哺乳瓶、哺乳瓶用の消毒剤
- 湯沸かし器具（電気が使えない際も想定した乾電池式もしくは発電式のもの）

離乳食用品

- ベビーフード（アレルギー対応食を含む）
- スプーン

紙おむつ用品

- 小児用紙おむつ
- おしりふき
- ごみ袋
- 乳幼児用着替え
- ベビーバス（赤ちゃんのお尻を洗うために必要）

その他

- 抱っこ紐
- 授乳用ポンチョ
- 下着（いろいろなサイズ）

女子会での意見の例

避難所の備蓄の中で充実してほしい品目

- ウェットティッシュ ■ ビニール袋 ■ バケツ ■ 簡易トイレの便袋 ■ 掃除用具、など

備蓄として追加してほしい品目

- 段ボール箱（加工してゴミ箱などいろいろな用途に使える） ■ ゴム手袋（トイレ掃除などに必要）
- ラップ（色々な用途に使い便利） ■ 間仕切り・パーティション（プライバシーの確保に役立つ）
- テント（着替えや授乳のスペースとして利用できる）、消臭剤、防犯ブザーやホイッスル、など

参考資料

- 内閣府男女共同参画局：男女共同参画の視点からの防災・復興の取組指針 解説・事例集、平成 25 年 5 月
- 川崎市男女共同参画センター：男女共同参画の視点でつくる 避難所運営ガイド、平成 26 年 4 月

発行者：新宿区区長室危機管理課 発行：平成 27 年 6 月

印刷物作成番号 2015-1-2010